



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
9/12 (月)	+ 800	▲ 17,300	▲ 16,500	国庫短期証券 発行・償還 (3M, 6M)	CP等買入 ▲ 400 社債等買入 ▲ 200 国債補充供給 + 7,200	国債買入 + 300	
9/13 (火)	トン	+ 3,000	+ 3,000				日: 国内企業物価指数 (8月) 米: CPI (8月)
9/14 (水)	トン	▲ 23,000	▲ 23,000	源泉税揚げ 国債発行 (5年)	共通担保 ▲ 13,700 貸出増加 ▲ 10,700		日: 鉱工業生産 (7月) 米: PPI (8月)
9/15 (木)	▲ 1,000	+ 1,000	トン				日: 貿易収支 (8月) 米: 小売売上高 (8月) 英: 中銀政策金利発表
9/16 (金)	▲ 1,000	▲ 7,000	▲ 8,000	国債発行・償還 (20年)			欧: CPI (8月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は、週初511兆7,500億円から始まった。その後国債買入オペのスタートや国庫短期証券の発行・償還、国債発行があったものの大きな増減には至らず511兆1,200億円（予想）で越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初▲0.047%から始まった。先週末2日の税・保険揚げ、普通交付税交付金の交付を経て積みも終盤入りしたことで最終日に向けた大手行・地銀業態の積極的な調達が見られた。そのため、6日以降は上昇基調となり6日から8日まで▲0.047%～▲0.037%で推移した。週末となる9日においても資金調達ニーズは堅調であり、同金利は▲0.030%（予想）とさらに上昇した。

ターム物は1W～2Wを中心に▲0.045%～▲0.020%のレンジで出合いが散見された。

来週の主な予定は、国内では14日に鉱工業生産（7月）、15日に貿易収支（8月）の公表などが予定されている。海外では15日に米CPI（8月）や、15日に英中銀政策金利の公表などが予定されている。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	▲0.080 ~ 0.001
1M	▲0.060 ~ 0.020
2M	▲0.010 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.130
6M	0.000 ~ 0.150

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	▲0.050 ~ 0.000
CP 3M	0.000 ~ 0.005

<レポ>

足許GC取引は週初▲0.085%近辺から始まり、週央まで同水準で推移した。短国3M、6Mの発行日が重なった12日受け渡しの取引は、▲0.075%まで上昇して越週した。SC取引は2年430～440回債、5年148～153回債、10年350～367回債、20年171～181回債、30年65～75回債、40年9～15回債などに引合いが多く見られた。

<CP>

今週の入札発行総額は約4,900億円で、週間償還額（約4,700億円）を若干上回った。発行市場は、石油製品や鉄鋼等の大型案件が実施されたものの、週を通じて案件が少なく落ち着いたマーケットとなった。発行残高は先週末の28兆3,620億円から、8日時点で28兆4,129億円に増加した。市場残高は引き続き高水準で推移しており、発行レートは、0%から若干のプラスレートでの出合いとなった。9日に、CP等買入オペが予定通り4,000億円で実施された。結果は、按分落札レート0.002%（前回0.001%）・平均落札レート0.005%（前回0.022%）と、按分レートが前回比で上昇した。

来週の週間償還額は、約9,800億円となっている。発行市場は、5・10日発行も予定されるが、引き続き、中間期末を睨んだ償還が多くなり、今週同様落ち着いたマーケットが予想される。発行レートは、0%近辺での出合いが多く、一部発行残高が積みあがった銘柄については若干のプラスレートを予想する。

[レンジ] CP3M (a-1+) 0.000%～0.005% 現先取引 ▲0.050%～0.000%

<TDB>

9月8日の6M1106回債の入札は、最高落札利回り▲0.1568%（前回債▲0.1387%）、平均落札利回り▲0.1935%（前回債▲0.1763%）、9月9日の3M1107回債の入札は、最高落札利回り▲0.1102%（前回債▲0.1062%）、平均落札利回り▲0.1154%（前回債▲0.1098%）となった。来週は15日に1Y、16日に3M

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。